

別添 4

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)) 分担研究報告書

地域課題の類型化にむけた PDCA サイクルを用いた地域ケア会議の実施方法

研究分担者	松田智行	茨城県立医療大学 保健医療学部理学療法学科
研究分担者	植嶋大晃	筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター
研究代表者	田宮菜奈子	筑波大学 医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野 筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター

要旨

(目的) 地域ケア会議を活用した地域包括ケアシステムの実現へ向け、地域包括支援センターレベルの会議（以下、地域ケア個別会議）で検討された個別事例の問題点や支援方法を類型化したデータとして蓄積し、地域毎および地域間での地域課題を検討する必要がある。そのため、地域課題を整理するための記載方法を整理し、地域ケア会議の運用に寄与することを目的とした。

(方法) 個別事例における問題点の抽出方法のためのキーワードを整理し、問題点と地域課題を整理するための評価方法について整理を行った。

(結果) 事例提供者への様式の記載方法の整理を行ったが、キーワード分類などの分類が未記載となっている場合があることが判明した。一方、検討事例について、認知症や精神機能障害といった身体機能障害以外の事例を検討することが多く、医師からの医学的背景の説明があることで、疾病や障害の理解が促進された。

(考察) 地域ケア個別会議における困難事例の問題点の類型化と実施について、個別事例の問題点をキーワード化し蓄積することにより、地域課題が明らかになることが期待される。今後、多くの方が利用できるような情報発信の体制を今後整備していく。

A. 研究目的

地域ケア会議を活用した地域包括ケアシステムの実現へ向け、地域包括支援センターレベルの会議（以下、地域ケア個別会議）で検討された個別事例の問題点や支援方法を類型化したデータとして蓄積し、地域毎および地域間での地域課題を検討する必要がある。

これまでの研究では、2016年度に困難事例の問題点の類型化および事例検討後の実施評価を行うことにより支援方法のプロセス評価が可能であることを検証した。また、2017年度においては、困難事例の問題点の類型化のためのキーワード分類について、先行研究を踏まえて整理を行った。

そこで2018年度は、地域課題の整理のための記載方法に関して整理をし、地域ケア会議の運用に寄与することを目的とする。

B. 研究方法

本研究では、毎月開催されるつくば市における医療福祉事例検討会（以下、事例検討会）に参加をし、地域ケア個別会議における個別事例における問題点の抽出方法のためのキーワードを整理し、問題点解決のための地域課題の整理方法をまとめた。

（倫理面への配慮）

本研究は、筑波大学倫理委員会の承認を得て実施した。（通知番号：第 1166 号）

C. 研究結果

事例検討会において、出席者に対して、個別事例の問題点を把握することができるように、個人に関する個人因子（生活機能や現病歴など）や環境要因（利用しているサービスや社会保障など）を簡潔に情報提供できるように、事例提供者への様式の記載方法の整理を行ったが、キーワード分類などの分類が未記載の場合があ

ることが判明した。

また、運営方法について、提供された事例の問題点をキーワード分類し、初回実施から3ヶ月後以降に支援方法の実施の有無と、問題点の解決の有無の評価を実施することとした。これにより、未解決であった問題点を蓄積し、キーワード毎に整理することができた。

一方、検討事例について、認知症や精神機能障害といった身体機能障害以外の事例を検討することが多くなり、医師からの医学的背景の説明があることで、参加者の疾病や障害の理解につながったと考えられた。

D. 考察

地域ケア個別会議における困難事例の問題点の類型化と実施について、個別事例の問題点をキーワード化し蓄積することにより、地域課題が明らかになることが期待される。問題点に関するキーワード分類の説明については、具体的な内容を新たに追加し、さらに医師及び看護師など保健医療の専門性に関する内容も抽出できるよう、整理を行った（表1）。

また、これらのキーワード分類を用いて、個別事例における問題点を蓄積し、未解決の問題点を整理することにより、地域における課題整理を行うことが可能であると考え（図1）。今後、多くの方が利用できるような情報発信の体制を今後整備してゆく予定である。

E. 結論

地域ケア個別会議における個別事例の問題点の課題整理方法について整理を行った。今後、実施方法などに関するマニュアルを整備し、発信を予定している。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 個別課題に対する問題点および問題点の具体的な内容について

領域	項目	具体的な内容
1 本人に関する領域	①本人の認識	自らの課題や病状を理解しているか、必要となるサービスを理解しているか
	②本人の疾病	本人の疾病に関すること
	③本人の日常生活能力	本人の日常生活動作能力に関すること
	④本人の支援状況	本人を支援する環境に関すること、世帯構成も含む
	⑤本人の経済状況	本人の経済状況に関すること
	⑥サービス利用に対する不安	サービス利用に対しての不安感や不慣れ、拒否
2 介護者に関する領域	⑦介護者の認識	自らの課題や病状を理解しているか、必要となるサービスを理解しているか
	⑧介護者の介護能力	介護をする人の介護能力に関すること（疾病以外に、実施能力など）
	⑨介護者の疾病	介護者が有する疾病に関すること
	⑩介護者の経済状況	介護者の経済状況に関すること
	⑪サービス利用に関する認識	サービス利用に関する認識、理解に関係すること
	⑫介護者間の認識	家族間で意見が一致しない
3 専門職に関する領域	⑬介護支援専門員の認識	介護支援専門員がサービス利用に関する認識に関すること
	⑭介護支援専門員の専門性	介護支援専門員の専門性に関すること
	⑮保健医療の専門家の認識	医師や看護師などの保健医療専門職がサービス利用に関する認識に関すること
	⑯保健医療の専門家の専門性	医師や看護師などの保健医療の専門性に関すること
4. 地域システムや制度に関する領域	⑰インフォーマルサービス	インフォーマルサービスに関すること
	⑱フォーマルサービス	フォーマルサービスに関すること
	⑲連携	地域システムの連携に関すること
	⑳制度	制度上に関係すること

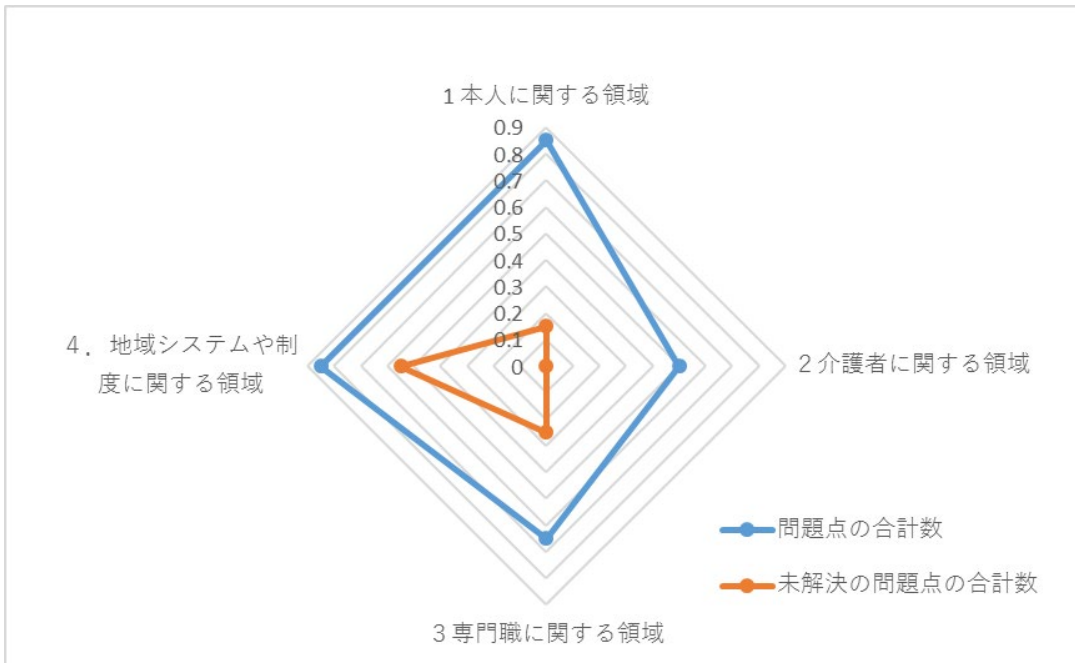


図 1 検討された地域課題と、未解決の問題点の整理 (案)

別添 5

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sandoval Garrido F, Tamiya N, Lloyd-Sherlock P, Noguchi H.	The relation between perceived social support and depressive symptoms among informal caregivers of community-dwelling older persons in the Republic of Chile	Psychogeriatrics		doi: 10.1111/psyg.12438	2019